

家庭数

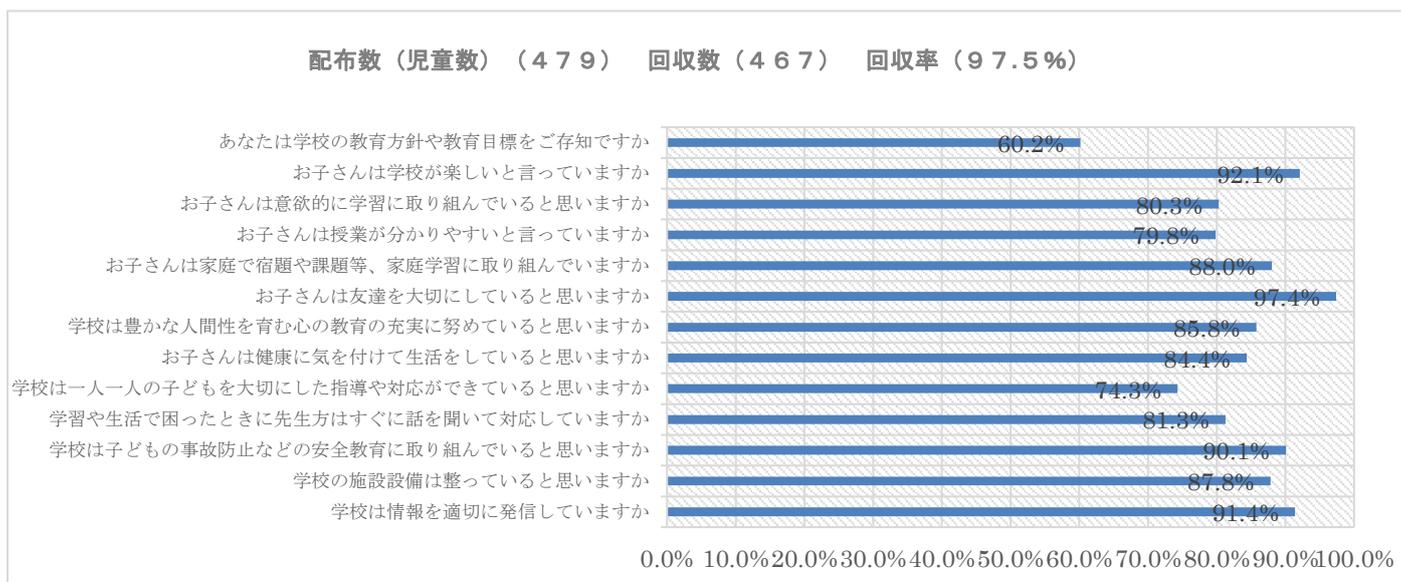
保護者 様

印西市立いは野小学校
校長 吉野高明

学校運営アンケート集計結果 について

残寒の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

このたび、集計結果について概要がまとまりましたので、以下の通りお知らせします。



- ①「教育方針・目標」については、周知率6割と低い値ですので、手段も含めて内容をしっかりと周知していくようにしたいと考えています。
- ②「学校が楽しい」については、変わらず高い評価をいただきました。今後も子どもが楽しく過ごしていけるよう取り組んでいこうと考えています。
- ⑪「安全教育」については、大変高い評価をいただいておりますが、学校内での事故防止のみならず、見守りをしてくださっている地域の方との連携も含めて、今後も更に工夫改善をしています。
- ⑨「一人一人の子どもを大切にされた指導・対応」については、昨年よりポイントとしては改善しているものの、他の項目に比して低い値となりました。個別指導、ケース会議や就学指導と共に、生徒指導等の共通理解もさらに充実していく必要があると考えます。

学校運営アンケート自由記述

たくさんのご意見をいただきました。この一覧には、学校運営に関わる内容について記載しました。

学校生活

- いろいろな面で先生によって指導や対応が違うことが多く、その差も大きい。よい先生はよいが、対応や指導が良くない先生が担任になると困る。統一した指導をしてほしい。
- 名札を服に穴が開かないバジタイプにしてほしい。
- 欠席時の連絡を電話かメールにすることはできないか。
- 1学級の人数が多く、担任との関わりが見えない。また、授業についていけないのであれば、放課後に少しでも補習をしていただきたい。
- 先生方が子どもたちを大切に守ってくださって、大変雰囲気の良い、温かみのある学校だと感じている。
- オープンな校舎、校風のため、クラスや学年をまたいで先生方も子供たちも「知っている」という状況、地域で「見ている」という安心感があります。
- 子どもに対し情熱と愛情をもって接して下さる先生が多いと感じます。熱心に指導して下さる先生方のおかげで子どもは学校生活を楽んでいます。いつも感謝しております。

裏面に続きます

学習・体力向上

- ・授業で理解していないままのことが多く、家庭での復習でやっと納得するという感じである。
- ・宿題の量について、学年や学校で統一してほしい。
- ・教科書をデータ化するなど、往復の荷物の軽減をしてほしい。例えば、ピアノ类等、レンタルでも可能なものはレンタルにするなどできないだろうか。
- ・チームで団結できる楽しさを得られるような体育をしてほしい。クラスのまとまりを感じるができない。
- ・英語の授業にさらに力を入れてほしい。

施設管理

- ・低学年教室前の街灯が数年切れたままになっている。階段が暗く、冬季は足元が危険である。
- ・いには野小の子どもの図書貸し出し量は多いようだが、本棚が少ないため本を増やしにくいと聞いた。空き教室などを活用して本のスペースを増やせたらと思う。

行事等

- ・学校からの情報発信が丁寧にされていることに感心している。校内、校外行事等、保護者も詳細に内容を理解でき、開かれた学校で親も安心できる。
- ・運動会を9月ではなく、10月や5月に実施できないか。(暑さ、気候的に)
- ・今年の運動会の対応が残念だった。もっと臨機応変な対応はできなかつたらどうか。
- ・家庭訪問は必要ないと思う。
- ・PTAの廃止。PTAではない形の(委託やボランティア等)の体制に移行してほしい。

学校関係者評価委員からの主な意見

※2月18日(月)に民生・児童委員、安全パトロール隊、明日会運営委員の方にお集まりいただき、学校運営アンケートを基に意見交換会を行いました。

- 宗像小在籍児童が安心して通えるように、学校としても十分な受け入れ態勢を敷いてほしい。
- バス通学については、ルートや停車場所など、安全面に配慮していただけているようで安心した。ただ、バスが運行されることを踏まえて、交通安全については、引き続き地域で見守っていきたく考えている。
- PTAの安全部の報告書を見ると、朝の見守りに出た保護者の方が児童の安全や挨拶運動に対する実態を的確にとらえていることがわかる。もっと、気軽に、そして多くの人に朝の見守りに出てもらえるようにすることで、多くの保護者が子どもたちの理解を進めることができるのではないかとと思う。
- PTAについて、PTAはいらないという意見があるが大変なのか。
→一部、役員決めが抽選になっている実態はある。ただ、結果、役員に選出された方みなさんは非常に精力的にやってくださり、充実した活動につながっている。
- 虐待問題が話題になっているが、周りの大人が子どもの命を救えなかったというのが残念でならない。学校ではどのような取り組みをしているか。
→日ごろから児童の様子を観察し、異変がないか見ている。また管理職によるアンケートの精査、担任による教育相談の実施などで対応している。
- 子育てに悩む保護者が、相談する所がなく、孤立してしまうという心配がある。いには野小で家庭訪問を行い、地域の情報把握に努めているのは大変良いことである。ただ、いには野地区はそのような問題がないと信じたいが、学校外の相談体制が十分とは言えないところもあり、見逃している可能性も否定できない。そのために地域とのつながり、PTAなどででのつながりを大事にしていけるように広く知らせていくべきではないか。
- 安全については、何が一番優先なのかを考えるべき。子どもの命を守るため、フェンスや防犯カメラの設置を再考する必要があるのではないか。